

2. 事業報告

I 公益目的事業

公益1 人と動物が共生する健全な社会の形成を図る事業

狂犬病等の人と動物の共通感染症の発生を予防し、動物の愛護・適正管理の普及・啓発を通じ、公衆衛生の向上や人と動物が安心して暮らせる健全な社会の発展を目指すことを目的に事業を実施した。

1) 狂犬病予防及びその知識の普及・啓発に関する事業

・ 集合注射の実施頭数

区分	集合注射実施日程	予定日数 (日間)	実施日数 (日間)	予定会場 (会場)	実施会場 (会場)	注射実施頭数
門司区	4月2日 ~ 4月9日	6	4	29	19	348 頭
小倉北区	4月16日 ~ 4月23日	6	—	24	—	—
小倉南区	4月2日 ~ 4月15日	10	4	40	16	518
若松区	4月10日 ~ 4月17日	6	—	27	—	—
八幡東区	4月20日 ~ 4月23日	4	—	20	—	—
八幡西区	4月2日 ~ 4月15日	9.5	4	45	18	553
戸畑区	4月15日 ~ 4月17日	2.5	—	13	—	—
合計		44	12	198	53	1,419

・ 秋季集合注射の実施頭数

区分	集合注射実施日程	会場数	注射実施頭数
門司区	10月 11・18 日	7	26 頭
小倉北区	10月 18 日	1	82
小倉南区	10月 10・24 日	6	107
若松区	10月 25 日	6	73
八幡東区	10月 11 日	1	49
八幡西区	10月 17・25 日	4	132
戸畑区	10月 18 日	1	49
合計		26	518

・ 個々注射の実施頭数

(単位:頭)

	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	合計
4月	613	1,409	1,941	790	457	1,698	340	7,248
5月	372	1,112	1,547	440	324	1,043	246	5,084
6月	194	493	644	169	238	556	106	2,400
7月	77	245	280	73	81	278	55	1,089
8月	54	139	145	33	72	165	33	641
9月	41	140	150	31	70	150	20	602
10月	57	169	185	63	142	189	42	847
11月	36	114	130	45	76	103	26	530
12月	46	84	100	20	85	113	16	464
1月	19	30	43	11	42	61	2	208
2月	8	12	29	9	17	32	1	108
3月								0
合計	1,517	3,947	5,194	1,684	1,604	4,388	887	19,221

2) 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及・啓発に関する事業

会員獣医師を通じて、学校及び一般市民へ人獣共通感染症の予防及び正しい知識の普及啓発を行った。

開催年月日	主催	開催場所	講習内容
3.1.30	福岡県 “One Health” 国際フォーラム 実行委員会	福岡国際 会議場 ※ライブ配信	福岡県“One Health”国際フォーラム2021 (1) 開会式 (2) 基調講演1 (3) 基調講演2 ○オンライン配信 開会式や基調講演の配信の他、国内外の専門家による講演などの映像を配信

3) 動物愛護・保護普及啓発事業

動物愛護週間に合わせ関係機関と協力し動物愛護の啓発活動を行っている。

主 催 北九州市獣医師会、北九州市、

①動物の無料なんでも相談(健康相談等)

実施期間 9月20日(日)～9月26日(土) 休診日を除く午前中
場 所 獣医師会会員の動物病院等

内容別相談件数

相 談 分 類	件 数
I 病気について	件
1 内科－寄生虫・伝染病・その他	300
2 外科－整形・手術・その他	66
3 産科－出産・その他	24
4 皮膚科	119
5 その他	160
II 公衆衛生関係	
1 不要ペットについて	2
2 死亡したペットについて	13
3 飼育上のトラブルや苦情について	41
4 動物の輸送方法について	8
5 その他	35
III 野生動物関係	
1 野生動物の取扱について	28
2 野生動物の飼育について	18
3 その他	1
合 計	815

動物別相談件数

種 類	件 数	種 類	件 数
犬	354	インコ	3
猫	267	とり	6
ウサギ	9	カメ	1
ハムスター	3		
合 計	643 件		

相談者のペット飼育の有無

有	無	合 計
502	67	569

②動物愛護デー事業

毎年北九州市と共催で開催している動物愛護デーは、コロナウイルス感染症の感染拡大防止を鑑み、催し物は中止になったが、愛護週間にあたり長寿犬や長寿動物の表彰を行った。

また、市内2か所で動物愛護のチラシ等を配る街頭啓発活動を行った。

○長寿犬表彰

登録されている犬のうち、狂犬病予防注射実績がよく、飼養管理が行き届いた高齢犬を長寿犬として表彰しているが、今年度は該当犬がいなかった。

○長寿犬・長寿猫表彰(北九州市獣医師会による表彰)

平成25年度より各病院から推薦された犬1頭・猫1頭を、本会独自の長寿犬・長寿猫とし表彰を行っており、今年度は犬23頭、猫23頭を表彰した。

○長寿動物表彰

到津の森公園で飼育され、長寿動物として推薦された次の動物を表彰した。

表 彰 者	愛 称	種 類	年 齢
北九州市獣医師会長賞	サキ	ミーアキャット	12

4) 学校飼育動物支援事業

・ 学校飼育動物支援協議会

開催年月日	出席者・人数(名)	会議の内容
2.6.29	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 3	1 昨年度の事業実施状況及び協議会活動状況について 2 今年度の活動計画について
3.3.15	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 3	1 今年度の活動状況 2 今年度の実施状況 3 来年度の活動計画 4 情報「新型コロナウイルス感染症対応下における取組事例について」

・ 学校訪問 (訪問数 7 校)

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
2.4.15	霧ヶ丘幼稚園	3.2.2	曾根東小学校
2.7.20	日明小学校	2.4	城野小学校
8.19	大里柳小学校	2.24	小石小学校
10.22	松ヶ江北小学校		

・ ふれあい授業 (訪問数 10 校)

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
2.7.22	霧ヶ丘幼稚園	2.2.9	曾根東小学校
7.27	霧ヶ丘幼稚園	2.18	曾根東小学校
7.27	日明小学校	2.22	曾根東小学校
7.28	霧ヶ丘幼稚園	3.1	小石小学校
10.29	松ヶ江北小学校	3.12	城野小学校

・ 学校飼育動物診療相談依頼件数 25 件

5) 適正な管理に関する事業

北九州市獣医師会は、動物の愛護、生命尊重、人と動物との共生の支点到立ち、平成12年度からメス猫の不妊手術費の一部助成を実施している。北九州市からもその成果が認められ平成16年度から補助金が交付されるようになり、メス犬も助成金の対象とした。また、平成20年度からは動物愛護センターのワンニャン譲渡会で引き取られたメス猫にも手術費用の助成を行っている。

- 令和2年度捨て猫・捨て犬防止キャンペーン事業 応募者数及び当選者数

【メス猫】

区分	総数		一般応募		手術済		ワンニャン 譲渡会	助成金 交付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選		
門司	178	37	92	22	85	15	1	30
小倉北	161	34	123	27	38	7	0	27
小倉南	192	40	117	26	75	14	0	35
若松	45	10	33	5	12	5	0	9
八幡東	99	20	67	14	30	6	2	19
八幡西	137	32	76	22	61	10	0	26
戸畑	49	7	38	4	11	3	0	7
合計	861	180	546	120	312	60	3	153

【メス犬】

区分	総数		一般		手術済		助成金 交付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選	
門司	45	8	14	4	31	4	8
小倉北	47	12	29	11	18	1	10
小倉南	66	13	20	7	46	6	11
若松	13	3	4	1	9	2	3
八幡東	18	4	14	4	4	0	3
八幡西	52	7	16	5	36	2	6
戸畑	6	3	5	3	1	0	2
合計	247	50	102	35	145	15	43

【メス猫・メス犬】

総数	1,108	230	648	155	457	75	196
----	-------	-----	-----	-----	-----	----	-----

6) 災害時の動物救済支援対策事業

災害時の動物救援事業に対して会員の動物病院において「九州災害時動物救援センター支援義援金募金」や、日本獣医師会が行っている「豪雨災害動物救護活動等支援事業寄付金」の募金箱を設置し、それぞれ集まった募金を振り込んだ。

九州地区獣医師会連合会では、大規模災害時において被災地域の獣医師会を周辺獣医師会から協力支援ができるよう、救護体制の充実・強化を図ろうと九州VMATを養成している。本会からも10人がVMAT隊員の認定を受けている。本年度の九州VMATの合宿訓練は九州災害時動物救援センターでの開催と、Webでの配信が行われ、3名の隊員が参加した。

当会において災害時対策委員会では、災害時の対応について動物救護対策本部の構成に関する会議を行った。

又、北九州市との災害時におけるペット救護対策に関する協定締結に向け、保健福祉局と協議を継続している。

7) 盲導犬利用者支援事業

平成2年度より公益財団法人九州盲導犬協会や盲導犬利用者からの要請により、市内で活躍している盲導犬や引退したリタイア犬に対し、混合ワクチンの無料接種並びに犬フィラリア症予防剤の無料交付を実施している。令和2年度も会員の協力により6頭の盲導犬と3頭のリタイア犬に対して診療特別措置を行った。

8) ワンニャン譲渡会への支援事業

飼い主不明の犬猫を新しい飼い主に譲渡するため北九州市愛護センターが「ワンニャン譲渡会」を開催し、譲渡される飼い主に適正飼育の啓発を行っていたが、今年度はコロナウイルス感染症流行のため譲渡会の開催がなかった。

9) 救急獣医療事業

動物生命の尊厳の追及と動物愛護の啓発向上を目的に救急獣医療体制の整備充実を公益目的達成の重要課題と位置づけ平成27年6月3日夜間救急動物病院を開院した。

また、夜間救急動物病院において北九州市と連携し所有者不明の負傷動物の治療、災害発生時におけるペットの保護収容、学校飼育動物に対する夜間の診療を実施している。令和2年度は所有者不明の負傷動物の治療を猫6件、学校飼育動物の治療1件行った。

公益2 獣医学術、獣医療の専門的知識・技術の普及並びに人材育成を図る事業

獣医師個々の診療技術や知識の向上を目的に事業を実施した。

1) 学会、講習会、研修会等の開催

・ 本会主催講習会

本年度はコロナウイルス感染症流行のため、講習会の開催はなかった。

・ 九州地区獣医師会主催講習会

開催年月日	主催獣医師会	開催場所	講習内容
2.8.9	福岡県 獣医師会	Web配信	動物のSFTSの臨床像と対応 鹿児島大学共同獣医学部 越境性動物疾病制御研究センター 准教授 松嶋 彩 先生
2.10.4	福岡県 獣医師会 (福岡県:主催)	Web配信	ワンヘルスフェスティバル ・開会式 ・講演 「共生社会はワンヘルスの実践から」 講師:酒井健夫 先生 (日本獣医師会顧問、元日本大学総長) 「ペットが人の健康に果たす役割」 講師:星 且二 先生(東京都立大学名誉教授) ・特別講演 「難病をのりこえた完全燃焼」～いのちはひとつ～ 講師:ISOPP(イソップ)さん&ダブルインパクト花子
2.11.22	福岡県 獣医師会	Web配信	「ショートカットできるアレルギー診断」 「病態を理解したアレルギー薬の使い方」 動物アレルギー検査株式会社 増田 健一 先生

2) 獣医学術地区学会事業及び地区大会事業の共催

・ 第69回九州地区獣医師大会並びに令和2年度獣医学術九州地区学会に関する事項

本年度の九州地区獣医師大会並びに獣医学術九州地区学会は、長崎県獣医師会の担当であったが、新型コロナウイルス感染症流行のため中止になった。

大会は中止となったが、会長・事務局長会議において、功労者等の表彰は実施されることになり、当会からは小田卓爾先生が九州地区獣医師会連合会会長功労者表彰を受けた。

(表 彰 者)

・九州地区獣医師会連合会会長表彰

【功労者】

氏 名	所 属
小 田 卓 爾	勤 務 会 員

Ⅱ 収益事業

1) 会館貸し館事業

会員等が学術を目的として、会館の利用を行った。又、会館利用者の利便性を高めるため、自動販売機を設置している。

Ⅲ その他事業(相互扶助等事業)

1) 損害保険、総合生命福祉共済事業

日本獣医師会が取り扱う保険について会員へ周知を図り、希望者への取り次ぎを行った。

2) 慶弔・見舞金

会員への慶弔や見舞金の給付を行った。

3) 畜産振興支援事業

・小倉牛枝肉共進会

北九州市は、平成元年から市内産黒毛和種牛のうち、肉質の良いものを「小倉牛」と命名しブランドの確立を図り、生産農家の育成指導と需要の拡大に努めてきた。その結果、今では「小倉牛」は高品質な牛肉として市民に広く定着している。

共進会では生産者の生産意欲及び生産技術の向上を目指して、優秀な成績を収めた生産者を表彰している。当獣医師会では、北九州市における畜産振興を奨励するため、優秀者への表彰など毎年協力を行っていたが、本年度は市内生産農家の肥育牛飼養頭数の減少に伴い開催が難しい状況にあるため、中止になった。